

●自然体験⑭

スノークラフト



概要

雪を使って、雪像づくりやかまくらづくり、スノーキャンドルづくりを楽しむことができます

人数

・何名でも

対象

・未就学児～

実施期間

・1月～3月
(積雪がある期間)

所要時間

・2時間程度
(片付け・休憩を含む)



活動場所

・くわの実広場、野外ステージ

指導のねらい

- ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かすことができる
- ・活動を通して、冬の自然を体感することができる

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

- ①どのような活動にしたいか「目的」を共有する
- ②グループ編成を決める
※引率体制も事前に考えておく
- ③作成テーマを考える
- ④使用する用具を確認する

【当日】

- ①服装、持ち物の確認や健康チェックを行う
- ②事務室で無線機を借りる
- ③物品の貸出(山の家職員立ち合い)
※スノークラフト物品割当表をもとに、割当の個数内で使用する
～スノークラフト実施～
- ④物品の返却(山の家職員立ち合い)
※物品の紛失を防ぐため、午後4時までに必ず返却する

※使用したフィールドは退館時までには、復元する
(時間が経つと、雪が固まり崩しづらくなるため、できるだけ当日に作業することがおすすめである)

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

- ・鉄製スコップ、プラスチックスコップ、バケツ
ポリタンク、スノークラフト用ボックス、ソリ

【団体で準備するもの】

- ・防水、防風性の強いウェア（重ね着をして、暑い場合は脱げるようにする）、帽子、耳当て、手袋、汗拭きタオル、換えの手袋

備考

【活動の様子・スノークラフト（例）】

